



上天草市立上天草総合病院

## 地域医療連携通信



上天草総合病院理念  
信頼される地域医療  
基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール : [kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp](mailto:kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp)

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠



## 地域包括ケアシステムと上天草総合病院

病院事業管理者 樋口 定信

上天草市民の皆様には、日頃より当院および関連施設の運営にご支援、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、3年ほど前から国（厚生労働省）が在宅医療の推進・地域包括ケアシステムの構築という言葉をも盛んに言いだしたことは、皆様もご存じのことと思います。この地域包括ケアシステムという考え方は、我々国民健康保険病院（国保直診）の全国組織である全国国民健康保険診療施設（国診協）が30年前から理念として取り組んできたことであり、国もようやく国診協・国保直診の活動を認めてくれたもので、我々こそが地域包括ケアシステムのパイオニアであると自負しているところです。

ここで、国保直診について簡単に説明します。昭和29年に国民健康保険が発足しましたが、全国の過疎地域・中山間地域には診療所や病院は殆どなく、「保険あって医療なし」という状態で保険料を払っても受診する医療機関がないというのが実情でした。その解消のために昭和30年から国保の補助で全国に3400の国保診療所・病院が誕生し、昭和36年には世界に誇る国民皆保険制度が出来上がりました。しかし、国保直診の数は、その後の地域の交通網の改善や市町村合併、公立病院改革等により過疎地を中心に廃院、統廃合等で減少し、現在1100になりました。

国保直診の目指す「地域包括医療・ケアシステム」とは、住民が住みなれた場所で、安心して一生その人らしい生活が出来るように、そのQOLの向上を目指すしくみであり、治療のみならず保健サービス、在宅ケア、リハビリテーション、福

祉・介護サービスのすべてを包含するもので、多職種連携、施設ケアと在宅ケアとの連携および住民参加のもとに、地域ぐるみの生活・ノーマライゼーションを視野に入れた全人的医療・ケアです。言い換えれば、保健・医療・介護・福祉の連携システムです。

国もほとんど同じことを提唱し、各都道府県ごとに地域包括ケアシステムの構築を義務づけ、各二次医療圏でも盛んに在宅医療・地域包括ケアシステムの構築のための多職種による研修会・検討会が開催されています。これは、多職種協働での地域における総合的なチーム医療・介護を提供するために必要な安心と信頼の基盤となる「顔の見える関係」をつくることに繋がるものと期待しています。しかし、私は更に大事なことは、住民の自主的な参加、すなわち住民（婦人会、老人会、社会福祉協議会の小地域ネットワーク等）との連携・協働がなければ地域特に過疎地での在宅医療・地域包括ケアシステムの構築は出来ないと思っています。このことがこれからの課題です。

ここで、一つお知らせですが、今年1月から、看護学校の解体工事が始まり、平成27年度には、新築工事が着工し、平成28年末までには完成の予定です。

最後に、上天草総合病院および関連施設では、今まで以上に地域住民の皆様をはじめ医療・介護・保健・福祉関係の皆様と力を合わせて地域包括ケアシステムの構築と地域の発展・活性化に精一杯努力してまいりますので、皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

# 心臓リハビリテーション教室・糖尿病教室のご紹介

5病棟看護師 堀江 健一

現在、上天草総合病院では月に一度、入院患者や地域住民を対象とした心臓リハビリテーション教室、糖尿病教室を開催しています。慢性心不全や糖尿病といった疾患は自己管理が重要であり、一度入院して状態が良くなっても自己管理がうまくいかず、再入院となる場合もあります。そのため自宅で長く健康に過ごすために、病気についての知識や予防方法などを学んでもらい、自分で病気をコント

ロールする力を育てることを目的として、この教室を行っています。内容は、病気や薬についての説明、食事療法・運動療法についての説明などがあり、それぞれ医師、栄養士、薬剤師、看護師などが自分の専門分野から話をしています。講義といった堅苦しいものではなく、参加者に問題を出したり質問に答えたりといった、楽しんで学べるようにしていますので是非お気軽にご参加ください。

最後に、当病院は地域住民みなさんの健康を守っていけるよう、今後も努力していきますのでこれからもよろしく願いいたします。



教室名	開催日時	開催場所
糖尿病教室	毎月第2金曜日 13:15～	6階講堂
心臓リハビリテーション教室	毎月第3金曜日 13:30～	6階講堂

## 救急蘇生訓練の実施

救急医療委員会委員長 城野 英利  
(診療部長兼外科部長)

患者急変対応模擬訓練を今年度は、昨年12月11日に行いました。例年通り、各階ごとに実施しましたのでその様子をご紹介します。大きな問題は発生しませんでした。改善できそうな箇所がありましたのでこれも皆様にご紹介いたします。

1階では、”家族に付き添われた患者様が、玄関前で倒れた”という設定でした。家人が受付に知らせに行くところからの訓練です。1階のみ訓練ドクターコールを放送しました。倒れていたのがお人形であったことでまさに訓練となってしまいました。

この日は、外は寒かったのですが、コンクリートの上での蘇生続行となってしまいました。一人のときは、現場での蘇生が優先されますが、複数人が集まったときは処置を行う場所も考慮し、ましてや今回は、屋外でしたから屋内への移動を早めに行う方がよかったと思います。蘇生行為に関しては、おおむね良好でした。

2階、3階、4階、5階、きららの里と順次訓練を行いました。食堂や廊下や訓練室において急変した患者様に対応するという設定でした。今回は、付き添いや面会の家族が急変発生を看護師に知らせるという設定としました。いずれの階においても急変発見からの一連の行動は、迅速にかつ適切に行われていました。今年度は、少し意地悪をして、急変患者様をテーブルのすぐそばやリハビリ器具のすぐそばに休ませてみました。患者様を動かしてスペース

を確保するか、テーブルなどを移動させるかの判断は、その場その場で考えて行っていくしかありませんので正解があるわけではありませんが、そういった周囲への配慮を行ってほしいと思います。(災害医療現場では、患者と自分の身を守るという観点から安全確保・確認が最優先されますが、患者の周囲が危険な場合もありえますので院内においても安全確保を忘れないでください。)

この数年、この訓練を担当していますが、急変時の対応という点でみると救命処置に必要な一連の流れは、スムーズに行われるようになってきました。しかしながら病院内での訓練ですから救命処置だけでなく、その後の治療へも移行できるような配慮まで行ってほしいと思いました。今回、私が気になったのは同席する家族への配慮がなされていなかったこと、蘇生処置に参加した医師への情報伝達が不十分であったこと、この二つの点です。今後は、この点も念頭に行動していただきたいので、多数傷病者の受け入れ訓練や情報伝達の訓練なども考えています。



救急蘇生訓練の様子



## 上天草看護専門学校 仮校舎へ移転

上天草看護専門学校は、解体工事に伴い平成27年1月8日（木）より仮設校舎に移転しました。平成27年に新築工事着工し、平成28年度末に完成予定です。

- 移転先住所 上天草市龍ヶ岳町大道2011番地  
(旧大道小学校)
- 連絡先 0969-62-0200  
(これまで通り、変更はありません)



仮校舎（旧大道小学校）



図書室及びランチルーム

## ゆきちゃんの花壇

病院南側は、日当たりがよくお天気の良い日はぽかぽかですが、風が強い日はリハビリをする人達も寒そうです。そんな南側にも花壇があります。なかなか手入れができなくて花もない状態がしばらく続いていました。

散歩をされる人、リハビリの人に楽しんでいただくこと花壇の手入れの話をしたところ、外来看護師のTさんの娘さん（ゆきちゃん）がお花を植えに来てくれました。パンジー・ビオラ・・・今きれいに咲いています。

春にはチューリップも咲く事でしょう。



## 研修会・勉強会の行事予定表

2月4日（水）	S-QUE院内研修1000' Eナース 「せん妄・認知症患者への看護対応」 講師；佐藤 典子 氏 (順天堂東京江藤高齢者医療センター 認知症看護認定看護師)	17:40～ 当院6階講堂
2月7日（土）	天草地区 摂食・嚥下研修会	13:30～17:00 松島総合センターアロマ
2月10日（火）	第一回上天草地区糖尿病治療カンファレンス 演者 熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科 教授 荒木 栄一 先生	18:50～20:30 亀屋ホテル華椿
2月14日（土）	創立50周年記念 第33回上天草総合病院学会	8:30～ 当院6階講堂
2月18日（水）	S-QUE院内研修1000' Eナース 「うつ病患者への看護アプローチ」 講師；古田 光 氏（東京都健康長寿医療センター研究所 精神科）	17:40～ 当院6階講堂
2月20日（金）	心臓リハビリテーション教室 ・非薬物療法について ・4月からの医療費について 講師；副院長兼循環器内科部長 脇田 富雄 医事課係長 江口 一	13:30～ 当院6階講堂

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については、地域医療連携室『TEL0969-62-1122（代表）』までお問い合わせ下さい。

## 編集後記

- 1月のスポーツ界では白鵬関や錦織選手の活躍で幕が開きましたが、一方、日本人人質事件に接し、理不尽さに憤りを覚えました。四時順行、最も寒いこの時期ですが、梅や福寿草の開花の話題も聞かえてきます。（福田）
- 「毎月受診時に“あこう”を貰っているが、1月は行けなくて。来月受診に行った時に貰いたいので取って置いてほしい」と患者様からの嬉しい電話がありました。このような方が一人でもいて下さることが、作成する私達にとってのエネルギー源となります。よーし、来月号頑張って作成するぞ！と意欲がわいてきました。（森口る）

## 2月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
<b>内科</b> (代謝内科 消化器内科 呼吸器内科) 新患担当	樋口 定信 坂本 興美 和田 正文	大村 信正 和田 正文 山城 武司	坂本 興美 大村 信正	樋口 定信 和田 正文 山城 武司	坂本 興美 山城 武司	
	下村 茉希 熊大代謝内科 (第1・3)	國友 耕太郎	下村 茉希 (10時～) 志摩 清	國友 耕太郎	応援医師	
<b>循環器内科</b>	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	
※ペースメーカー外来は(3、6、9、12月)に行います。						
<b>小児科</b>	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	
<b>外科・肛門外科 消化器外科</b>	福田 誠	城野 英利	福田 誠 ／ 蓮尾 友伸	城野 英利	蓮尾 友伸	
<b>整形外科</b>	藤松 晃一	上原 悠輔	藤松 晃一	【午後2時～】 森山 弘朗 (久米慎一郎)	藤松 晃一	<b>27日(金)</b>
※毎週木曜日(予約制)は午後2時から午後5時まで診察を行います。						
<b>産婦人科</b>	姫野 隆一 桑原 三郎	—	姫野 隆一 桑原 三郎	姫野 隆一 桑原 三郎	姫野 隆一 (桑原 三郎)	<b>2月は 毎週(火) 休診</b>
<b>耳鼻咽喉科</b>	—	熊大	—	—	熊大	
<b>眼科</b>	栗井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
<b>皮膚科</b>	—	—	—	尹 浩信	—	<b>26日(木)</b>
<b>泌尿器科</b>	—	小川 愛一郎	—	—	—	
<b>超音波・ 内視鏡センター</b>	蓮尾 友伸 城野 英利 國友 耕太郎	福田 誠 蓮尾 友伸	城野 英利 和田 正文	福田 誠 蓮尾 友伸	福田 誠 城野 英利 下村 茉希	
<b>歯科・口腔外科</b>	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、1時～4時30分まで受付けます。						

教良木診療所 応援	大村 信正	坂本 興美	樋口 定信	応援	國友 耕太郎
御所浦診療所応援	午前	竹下 哲二 山城 武司 (第2・4)	下村 茉希	—	樋口 定信 (大村 信正)
	午後	—	下村 茉希	—	(樋口 定信) (下村 茉希)
御所浦北診療所 応援 (午後のみ)	樋口 定信 (第1・3) 山城 武司 (第2・4)	—	—	大村 信正	—

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分まで行います。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※内科は、火・木の午後5時～午後6時の診療は**予約の方のみ**となります。

※木曜日の内科山城医師の外来は午前と午後3時～午後6時まで診療を行います。